

2025/11/4 緩和ケア研修会アンケート結果

令和7年度疾患別医療・介護連携事業 「緩和ケア」多職種向け研修会

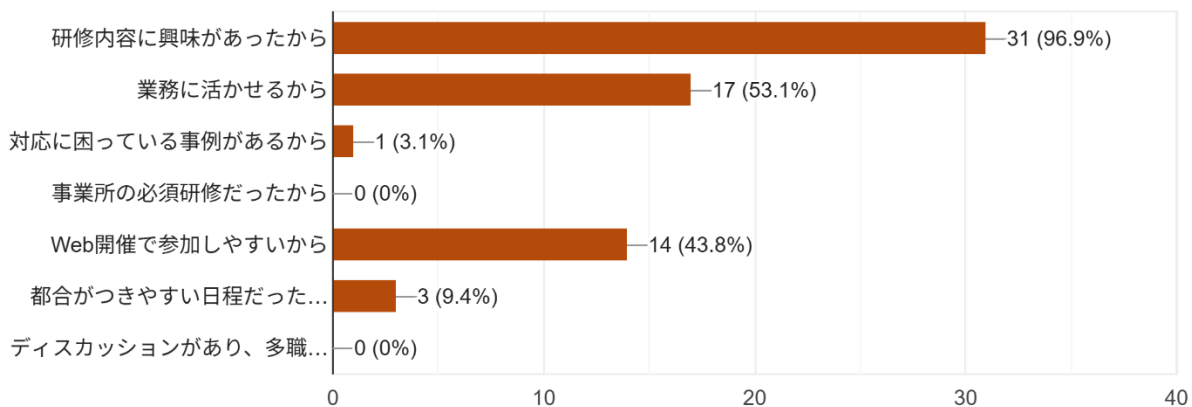
「本人の意向を尊重した支援～家族の揺れる思いを通して考える独居の方の看取り～」

日時：2025年11月4日（火曜日）19:30～20:00 Web開催

参加者 36名 アンケート回答者 32名 回答率 88.9%

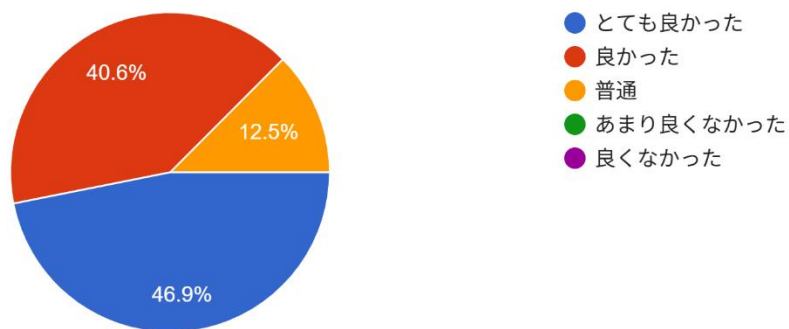
1. 今回研修に参加した理由を教えてください（複数回答可）

32件の回答



2. 研修はいかがでしたか？

32件の回答



理由を教えてください 26件の回答（）内同様のご意見数

- ・ 事例が具体的で分かりやすかった。独居の方の在宅看取りの参考になった。看取りの流れが学べた。（8件）
- ・ それぞれ専門職の役割や意見を聞くことが出来た。多職種が連携することで、様々な意見があることや一人ではできない気づきがある事を知った。今後の連携の参考にしたい。（5件）
- ・ ご本人の意思を多職種の関りで尊重できた事例で非常に学びになる。（3件）
- ・ 医師としての率直な気持ちを聞いた。一人の人間として向き合ったことについて共感出来た。（3件）

- ・ 在宅での看取りでは、本人や家族の気持ちの揺れを身近で感じる。友人の不安が良くわかる。それとどう向き合うか、チームの係わりの大切さなど、考える機会になった。(2件)
- ・ 現在がん患者を担当しており、参考になった。(2件)
- ・ 日頃業務での思いや疑問が参加された方々と同じで大変参考になった。(2件)
- ・ 家族や支援者が多くあり、独居のイメージが違った。(2件)
- ・ 何を重要視するか疑問が残った。
- ・ 倫理調整の具体的なプロセスを深堀すると、今後の多職種連携にも活かせると思う。職種間でのジレンマはなかったのか。あった場合の調整や誰が中心になったかが気になった。

4. 今後に活かせるような内容はありましたか。あればご記入ください。

20 件の回答

- ・ 家族員以外の人でも本人にとって大切な方であれば家族同様の存在と考えること。その場合の情報共有も大切であることを学んだ。(6件)
- ・ 多職種の力を借りること。職種で常にお互いの考えを共有し合う大切さ。(6件)
- ・ 本人の意向の確認。本音を言ってもらえるような関係を築くこと。(5件)
- ・ 抱え込まずに相談すること。(2件)
- ・ MCS の活用。
- ・ 在宅介護を利用する立場として参考にしたい。
- ・ 在宅の終末期の専門職による口腔領域のアプローチの大切さ。
- ・ 家族の揺らぎに着目した調整。

5. 研修全体を通じてご感想・ご意見などありましたらご記入をお願いします。

12 件の回答

- ・ ありがとうございます。自社では未経験の事例で勉強になりました。
- ・ 看護師、ヘルパー、他の方々がケア中に具体的に交わした会話や感じたことなどもっと聞けると良かったです。
- ・ 医師の終末期における、正直な言葉を通して改めて、チームで支援する大切さを実感できた。
- ・ ZOOM だったので参加しやすかったです。ありがとうございます。
- ・ 学びの機会をいただきありがとうございます
- ・ 関わっておられた皆様お疲れ様でした。
- ・ 症例を聞く機会が多くなれば緩和ケアが遠い存在ではなくより身近なものになるのではと考えました。次回もよろしくお願いします。
- ・ ZOOM 開催、短時間での発表 お疲れさまでした。
- ・ 色々な専門職の方の意見が聞けてとても良かったです。
- ・ お忙しい中、研修をありがとうございました。
- ・ 各、業種の方の最後の思いを知ることができた。共有し実践していくには、余命残りすくない時間の皆の協力と理解とチームワーク、それには多くの経験が必要と感じた。
- ・ 大変有意義な研修でした。ありがとうございます。